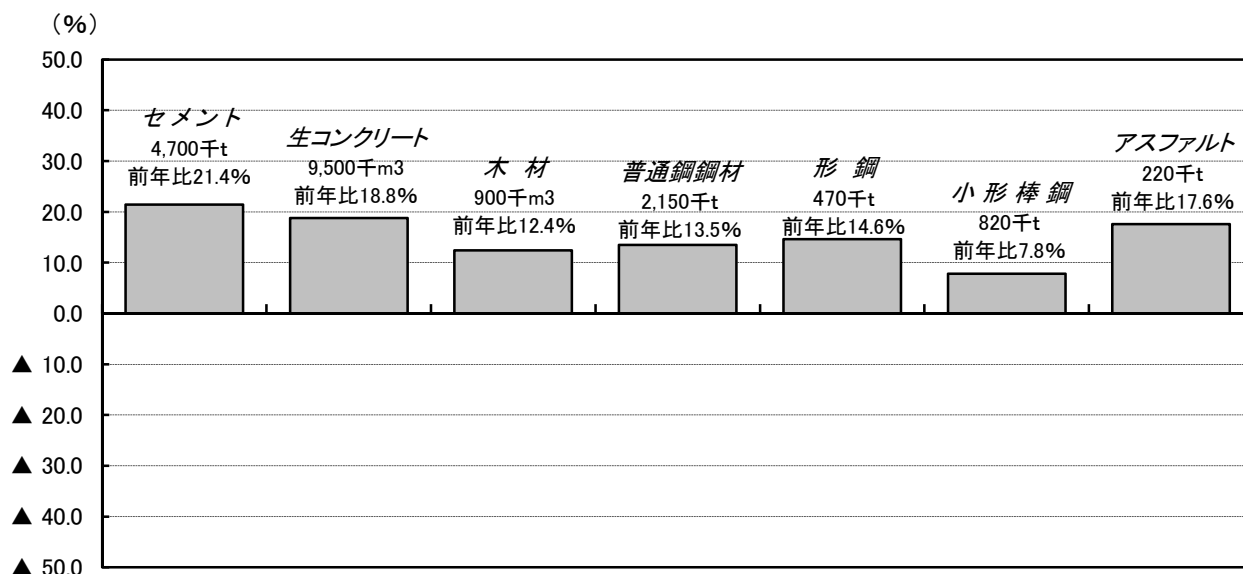


## 主要建設資材月別需要予測 < 平成26年3月分 >

### 1. 平成26年3月の主要建設資材の予測需要量



#### 【セメント、生コンクリート】

セメントの需要量は4,700千t（前年同月比21.4%のプラス）、生コンクリートの需要量は9,500千m<sup>3</sup>（前年同月比18.8%のプラス）と予測される。

#### 【木材】

木材の需要量は900千m<sup>3</sup>（前年同月比12.4%のプラス）と予測される。

#### 【普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼】

普通鋼鋼材の需要量は、2,150千t（前年同月比13.5%のプラス）、形鋼の需要量は、470千t（前年同月比14.6%）、小形棒鋼の需要量は、820千t（前年同月比7.8%のプラス）と予測される。

#### 【アスファルト】

アスファルトの需要量は、220千t（前年同月比17.6%のプラス）と予測される。

## 2. 本予測の目的

建設資材（以下「資材」という。）の需給を安定化し、もって建設活動の円滑な実施を図ることを目的として、平成26年3月分の主要資材の需要予測を行うものである。

## 3. 対象資材等

セメント、生コンクリート、木材、普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼及びストレートアスファルトの5資材7品目の国内における需要量の見通しである。

### <セメント>

国内メーカーの国内販売量に海外メーカーからの輸入量を加えた内需量を対象としている。

「内需量」＝「国内販売量」＋「輸入量」

なお数値は、（社）セメント協会「月別セメント販売実績」の値を用いて予測している。

### <生コンクリート>

全国生コンクリート工業組合連合会組合員工場の出荷量とその他工場の推定出荷量とを加えた出荷量を対象としている。

「出荷量」＝「組合員工場出荷量」＋「その他工場推定出荷量」

なお数値は、全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会「全国生コンクリート出荷実績（月次）」の値を用いて予測している。

### <木材>

国内メーカーの製材品出荷量を対象としており、建設向け以外の量を含んでいる。また、製材用素材として外材を含んでいる。

なお数値は、農林水産省「製材統計」の値を用いて予測している。

### <普通鋼鋼材及び形鋼>

国内メーカーの国内建設向け受注量を対象としている。

なお数値は、（一社）日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計月報」の値（国内向け受注総量から国内建設向け受注量を推計したもの）を用いて予測している。

### <小形棒鋼>

国内メーカー及び国内主要販売業者からの国内建設向け出荷量を対象としている。ただし、海外メーカーからの輸入量は含まれていない。

なお数値は、（一社）日本鉄鋼連盟「鉄鋼統計月報」の値を用いて予測している。

### <アスファルト>

国内メーカーの建設向け内需量（燃焼用及び工業用分を除いている）と海外メーカーからの建設向け輸入量を加えた建設向け等内需量を対象としている。

なお数値は、石油連盟「石油アスファルト統計月報」の値を用いて予測している。

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課 労働資材対策室			
課長補佐	伊藤	(内線24-863)	電話 03-5253-8111 (代表)
資材係長	森田	(内線24-864)	03-5253-8283 (夜間直通)
			FAX 03-5253-1555
インターネットアドレス		<a href="http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgvo_list.html">http://www.mlit.go.jp/statistics/details/kgvo_list.html</a>	

主要建設資材月別需要予測 予測需要量及び実績の一覧表 <平成26年3月分>

資材名称	予測対象 (単位)	項目	平成24年度								平成25年度																
			第3四半期				第4四半期				第1四半期				第2四半期				第3四半期				第4四半期				
			10月	11月	12月	四半期計	1月	2月	3月	四半期計	4月	5月	6月	四半期計	7月	8月	9月	四半期計	10月	11月	12月	四半期計	1月	2月	3月	四半期計	
セメント	内需量 (千t)	実績(予測)	4,211	4,178	4,058	12,448	3,258	3,657	3,872	10,787	3,710	3,674	3,747	11,131	4,189	3,620	3,965	11,774	4,373	4,555	(5,300)	14,228	(4,100)	(4,500)	(4,700)	13,300	
		前年実績値	3,886	4,019	4,084	11,989	3,180	3,608	3,717	10,504	3,298	3,470	3,645	10,414	3,769	3,452	3,707	10,928	4,211	4,178	4,058	12,448	3,258	3,657	3,872	10,787	
		伸び率(%)	8.4	4.0	▲0.6	3.8	2.5	1.4	4.2	2.7	12.5	5.9	2.8	6.9	11.2	4.9	6.9	7.7	3.9	9.0	30.6	14.3	25.9	23.1	21.4	23.3	
生コンクリート	出荷量 (千m3)	実績(予測)	8,778	8,605	8,449	25,833	6,616	7,569	7,999	22,183	7,681	7,788	7,908	23,378	8,633	7,489	8,272	24,394	9,041	9,403	(10,750)	29,194	(8,000)	(9,000)	(9,500)	26,500	
		前年実績値	8,069	8,310	8,463	24,841	6,390	7,394	7,613	21,398	6,858	7,151	7,417	21,426	7,698	7,200	7,758	22,657	8,778	8,605	8,449	25,833	6,616	7,569	7,999	22,183	
		伸び率(%)	8.8	3.6	▲0.2	4.0	3.5	2.4	5.1	3.7	12.0	8.9	6.6	9.1	12.2	4.0	6.6	7.7	3.0	9.3	27.2	13.0	20.9	18.9	18.8	19.5	
木材	製材品 出荷量 (千m3)	実績(予測)	843	850	786	2,479	722	755	801	2,278	837	863	834	2,534	884	800	840	2,524	917	937	(875)	2,729	(800)	(850)	(900)	2,550	
		前年実績値	830	839	785	2,454	711	711	745	2,167	762	761	787	2,310	793	739	781	2,313	843	850	786	2,479	722	755	801	2,278	
		伸び率(%)	1.6	1.3	0.1	1.0	1.5	6.2	7.5	5.1	9.8	13.4	6.0	9.7	11.5	8.3	7.6	9.1	8.8	10.2	11.3	10.1	10.8	12.6	12.4	11.9	
普通鋼鋼材	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	1,748	1,777	1,685	5,210	1,800	1,844	1,894	5,538	1,783	1,690	1,637	5,110	1,827	1,768	1,844	5,439	2,005	1,988	(2,000)	5,993	(2,000)	(2,000)	(2,150)	6,150	
		前年実績値	1,604	1,606	1,680	4,890	1,590	1,692	1,876	5,158	1,716	1,620	1,531	4,867	1,635	1,664	1,690	4,989	1,748	1,777	1,685	5,210	1,800	1,844	1,894	5,538	
		伸び率(%)	9.0	10.6	0.3	6.5	13.2	9.0	1.0	7.4	3.9	4.3	6.9	5.0	11.7	6.3	9.1	9.0	14.7	11.9	18.7	15.0	11.1	8.5	13.5	11.1	
	形鋼	建設向け 受注量 (千t)	実績(予測)	365	350	363	1,078	361	364	410	1,135	426	380	374	1,180	381	376	402	1,159	425	435	(420)	1,280	(390)	(400)	(470)	1,260
			前年実績値	316	311	342	969	329	353	413	1,095	396	362	324	1,082	331	342	346	1,019	365	350	363	1,078	361	364	410	1,135
			伸び率(%)	15.5	12.5	6.1	11.2	9.7	3.1	▲0.7	3.7	7.6	5.0	15.4	9.1	15.1	9.9	16.2	13.7	16.4	24.3	15.7	18.7	8.0	9.9	14.6	11.0
	小形棒鋼	建設向け 出荷量 (千t)	実績(予測)	759	740	656	2,155	660	685	761	2,106	747	732	709	2,188	768	694	738	2,199	799	782	(730)	2,310	(730)	(750)	(820)	2,300
			前年実績値	699	672	630	2,000	615	638	695	1,947	661	668	672	2,001	674	640	658	1,972	759	740	656	2,155	660	685	761	2,106
			伸び率(%)	8.6	10.3	4.2	7.7	7.4	7.4	9.6	8.2	13.0	9.6	5.4	9.3	13.9	8.5	12.1	11.5	5.3	5.6	11.2	7.2	10.6	9.5	7.8	9.2
アスファルト	建設向け 販売等量 (千t)	実績(予測)	149	155	145	449	99	142	187	427	75	94	105	274	105	112	116	333	125	151	(175)	451	(115)	(175)	(220)	510	
		前年実績値	179	191	167	537	116	155	240	511	90	104	109	303	128	121	136	385	149	155	145	449	99	142	187	427	
		伸び率(%)	▲16.7	▲19.0	▲13.2	▲16.4	▲14.1	▲8.6	▲22.4	▲16.3	▲17.1	▲9.4	▲3.8	▲9.7	▲18.2	▲8.0	▲14.4	▲13.6	▲16.1	▲2.5	20.5	0.4	15.9	23.2	17.6	19.4	

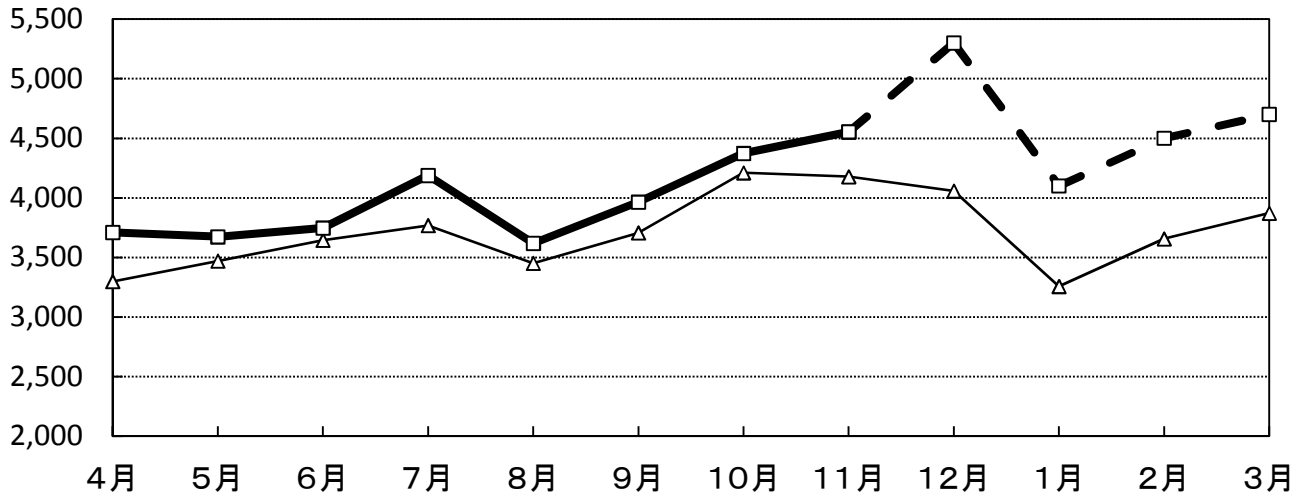
注1) 実績値のうち( )のあるものは予測値、イタリック体は速報値である。それ以外の各月の数値は実績値である。

注2) 予測結果における最小の有効単位…セメント(100千t)、生コンクリート(250千m3)、木材(25千m3)、普通鋼鋼材(50千t)、形鋼(10千t)、小形棒鋼(10千t)、アスファルト(5千t)。

注3) 伸び率(%)は、前年同月実績値に対するもので、▲印は減少を示す。

## セメントの需要量推移

(単位:千トン)



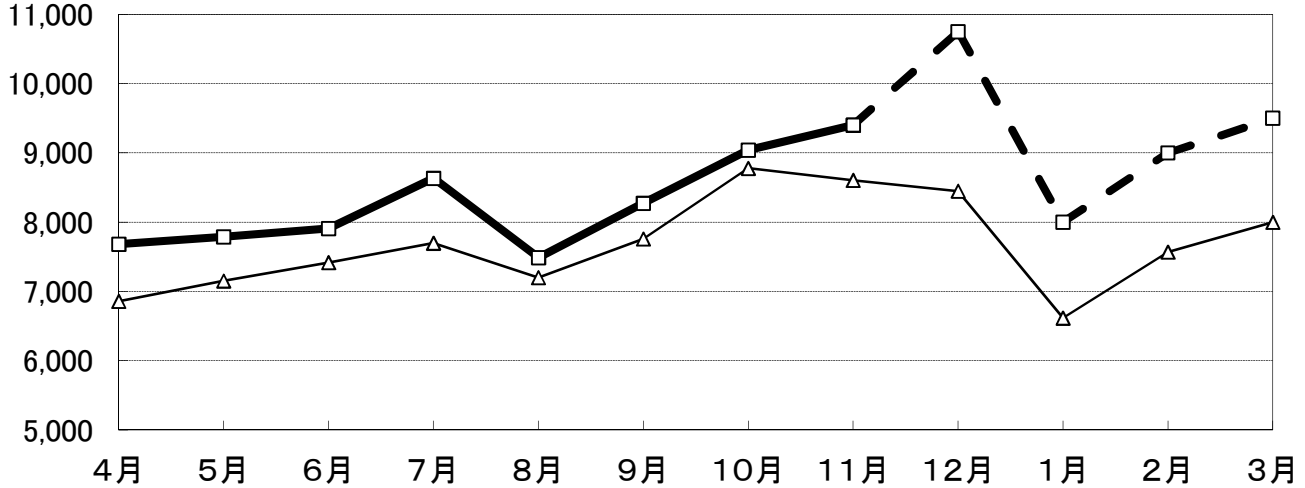
※破線は予測値

(実線部出典: 社団法人 セメント協会)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

## 生コンクリートの需要量推移

(単位:千m<sup>3</sup>)



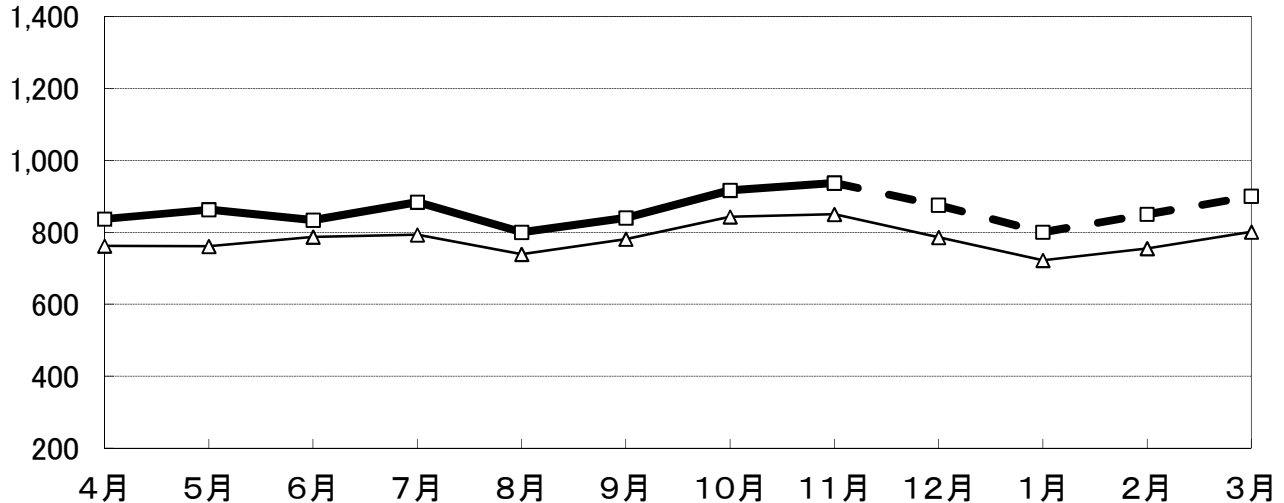
※破線は予測値

(実線部出典: 全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

## 木材の需要量推移

(単位:千m<sup>3</sup>)



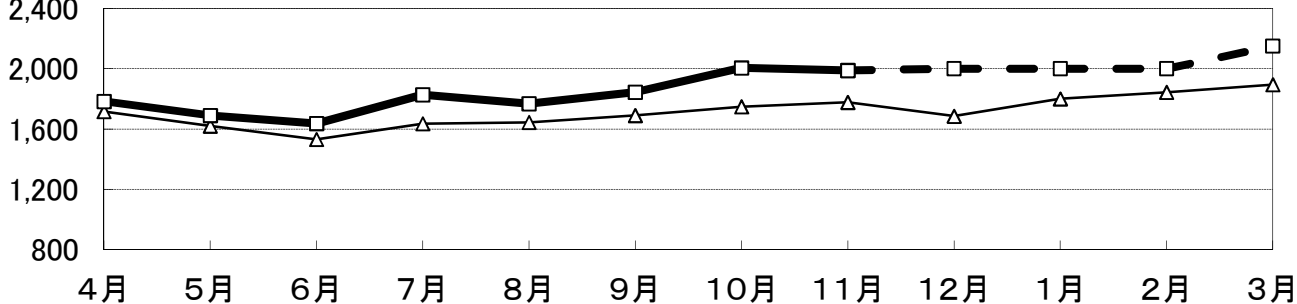
※破線は予測値

(実線部出典: 農林水産省)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

### 普通鋼鋼材の需要量推移

(単位:千トン)



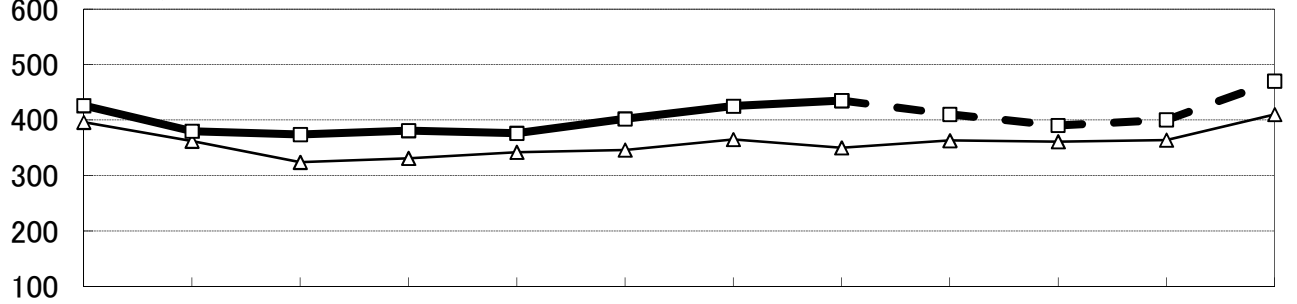
※破線は予測値

(実線部出典:一般社団法人 日本鉄鋼連盟)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

### 形鋼の需要量推移

(単位:千トン)



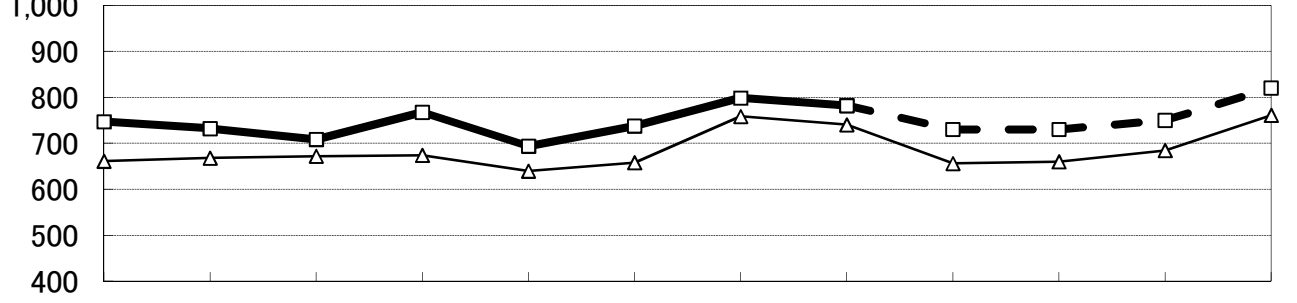
※破線は予測値

(実線部出典:一般社団法人 日本鉄鋼連盟)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

### 小形棒鋼の需要量推移

(単位:千トン)



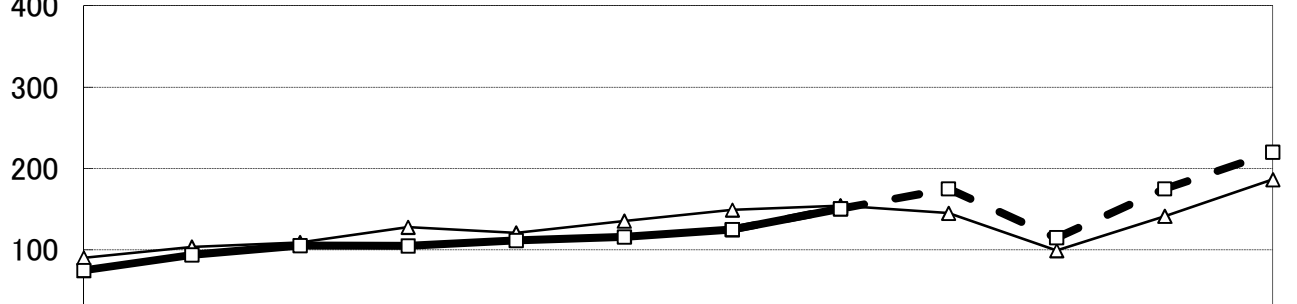
※破線は予測値

(実線部出典:一般社団法人 日本鉄鋼連盟)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

### アスファルトの需要量推移

(単位:千トン)



※破線は予測値

(実線部出典:石油連盟)

※グラフの△は平成24年4月～平成25年3月、□は平成25年4月～平成26年3月

<主要建設資材の国内需要量実績の推移>

参考資料

国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課  
平成26年1月31日 現在

		セメント (内 需 量)		生コンクリート (出 荷 量)		木材 (製材品出荷量)		普通鋼鋼材 (建設向け受注量)		形鋼 (建設向け受注量)		小形棒鋼 (建設向け出荷量)		アスファルト (建設向け等内需量)	
		千t	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千m3	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)	千t	前年比(%)
		平成 9年度	76,573	▲ 7.1	167,292	▲ 7.2	21,103	▲ 13.5	28,642	▲ 6.6	7,303	▲ 10.0	11,373	▲ 3.9	4,117
10年度	70,719	▲ 7.6	153,308	▲ 8.4	18,924	▲ 10.3	25,715	▲ 10.2	6,399	▲ 12.4	10,555	▲ 7.2	3,777	▲ 8.3	
11年度	71,515	1.1	151,167	▲ 1.4	18,396	▲ 2.8	26,863	4.5	6,704	4.8	10,724	1.6	3,823	1.2	
12年度	71,435	▲ 0.1	149,483	▲ 1.1	17,282	▲ 6.1	28,024	4.3	6,896	2.9	11,001	2.6	3,804	▲ 0.5	
13年度	67,811	▲ 5.1	139,588	▲ 6.6	15,196	▲ 12.1	26,003	▲ 7.2	6,010	▲ 12.8	10,695	▲ 2.8	3,580	▲ 5.9	
14年度	63,514	▲ 6.3	131,413	▲ 5.9	14,271	▲ 6.1	25,829	▲ 0.7	5,614	▲ 6.6	10,700	0.0	3,343	▲ 6.6	
15年度	59,687	▲ 6.0	123,735	▲ 5.8	14,042	▲ 1.6	25,177	▲ 2.5	5,704	1.6	9,827	▲ 8.2	3,229	▲ 3.4	
16年度	57,569	▲ 3.5	118,982	▲ 3.8	13,446	▲ 4.2	25,066	▲ 0.4	5,623	▲ 1.4	9,725	▲ 1.0	3,014	▲ 6.7	
17年度	59,089	2.6	121,549	2.2	13,161	▲ 2.1	24,703	▲ 1.4	5,659	0.7	10,089	3.7	2,478	▲ 17.8	
18年度	58,985	▲ 0.2	121,903	0.3	12,791	▲ 2.8	25,781	4.4	5,926	4.7	10,991	8.9	2,401	▲ 3.1	
19年度	55,506	▲ 5.9	111,881	▲ 8.2	11,912	▲ 6.9	24,984	▲ 3.1	5,616	▲ 5.2	10,508	▲ 4.4	2,323	▲ 3.2	
20年度	50,087	▲ 9.8	101,009	▲ 9.7	10,809	▲ 9.3	21,240	▲ 15.0	4,738	▲ 15.6	8,722	▲ 17.0	1,882	▲ 19.0	
21年度	42,732	▲ 14.7	86,030	▲ 14.8	9,282	▲ 14.1	17,384	▲ 18.2	3,696	▲ 22.0	7,360	▲ 15.6	2,302	22.3	
22年度	41,614	▲ 2.6	85,278	▲ 0.9	9,498	2.3	18,473	6.3	3,791	2.6	7,450	1.2	1,796	▲ 22.0	
23年度	42,650	2.5	87,964	3.1	9,217	▲ 3.0	19,243	4.2	3,973	4.8	7,759	4.2	1,739	▲ 3.1	
24年度	44,577	4.5	92,099	4.7	9,380	1.8	20,604	7.1	4,314	8.6	8,234	6.1	1,565	▲ 10.0	
平成二十四年度	4月	3,298	1.6	6,858	1.9	762	0.8	1,716	2.1	396	6.5	661	0.8	90	▲ 10.6
	5月	3,470	19.2	7,151	20.8	761	6.1	1,620	5.2	362	2.0	668	11.3	104	3.4
	6月	3,645	3.7	7,417	3.1	787	5.4	1,531	4.6	324	6.6	672	6.3	109	▲ 9.9
	7月	3,769	7.2	7,698	5.3	793	▲ 0.3	1,635	14.2	331	24.0	674	5.5	128	5.8
	8月	3,452	1.9	7,200	0.6	739	▲ 2.8	1,664	13.3	342	20.8	640	1.9	121	4.4
	9月	3,707	3.5	7,758	4.7	781	▲ 4.9	1,690	5.0	346	5.5	658	0.2	136	3.3
	10月	4,211	8.4	8,778	8.8	843	1.6	1,748	9.0	365	15.5	759	8.6	149	▲ 16.7
	11月	4,178	4.0	8,605	3.6	850	1.3	1,777	10.6	350	12.5	740	10.3	155	▲ 19.0
	12月	4,058	▲ 0.6	8,449	▲ 0.2	786	0.1	1,685	0.3	363	6.1	656	4.2	145	▲ 13.2
	平成25年 1月	3,258	2.5	6,616	3.5	722	1.5	1,800	13.2	361	9.7	660	7.4	99	▲ 14.1
	2月	3,657	1.4	7,569	2.4	755	6.2	1,844	9.0	364	3.1	685	7.4	142	▲ 8.6
	3月	3,872	4.2	7,999	5.1	801	7.5	1,894	1.0	410	▲ 0.7	761	9.6	187	▲ 22.4
平成二十五年度	4月	3,710	12.5	7,681	12.0	837	9.8	1,783	3.9	426	7.6	747	13.0	75	▲ 17.1
	5月	3,674	5.9	7,788	8.9	863	13.4	1,690	4.3	380	5.0	732	9.6	94	▲ 9.4
	6月	3,747	2.8	7,908	6.6	834	6.0	1,637	6.9	374	15.4	709	5.4	105	▲ 3.8
	7月	4,189	11.2	8,633	12.2	884	11.5	1,827	11.7	381	15.1	768	13.9	105	▲ 18.2
	8月	3,620	4.9	7,489	4.0	800	8.3	1,768	6.3	376	9.9	694	8.5	112	▲ 8.0
	9月	3,965	6.9	8,272	6.6	840	7.6	1,844	9.1	402	16.2	738	12.1	116	▲ 14.4
	10月	4,373	3.9	9,041	3.0	917	8.8	2,005	14.7	425	16.4	799	5.3	125	▲ 16.1
	11月	4,555	9.0	9,403	9.3	937	10.2	1,988	11.9	435	24.3	782	5.6	151	▲ 2.5
	12月														
	平成26年 1月														
	2月														
	3月														

(注1) 各資材の需要量は四捨五入して算出しているため、各月の合計と年度計とは一致しない。

(注2) 前年比欄の▲はマイナス。

(注3) イタリック体は速報値。

(注4) 平成23年2～6月の木材の需要量は、東日本大震災の影響によりとりまとめが行えない岩手県、宮城県及び福島県分を含まない数値であり、「前年度比」は、上記3県分を除いた数値を用いて算出している。

《出所》・セメント…(社)セメント協会(月別セメント販売実績)

・生コンクリート…全国生コンクリート工業組合連合会・協同組合連合会  
(全国生コンクリート出荷実績(月次))

・木材…農林水産省(製材統計)

・普通鋼鋼材、形鋼、小形棒鋼…(一社)日本鉄鋼連盟(鉄鋼統計月報)

・アスファルト…石油連盟(石油アスファルト統計月報)